

競技注意事項

この大会は2022年（一財）日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。

1. 招集

- (1) 競技者係で時間前に受付をし、点呼を受けた後移動する。招集開始時刻に集合すること。
- (2) 招集はすべて競技者係の指示に従う。招集開始時刻・終了時刻は次の通りとする。

| | |
|-------------------|----------------------|
| トラック競技 | 競技開始時刻 30分前開始・15分前終了 |
| フィールド競技（走高・走幅・三段） | 競技開始時刻 45分前開始・30分前終了 |
| （砲丸・円盤・ジャベ） | 競技開始時刻 35分前開始・20分前終了 |
| （棒高跳） | 競技開始時刻 60分前開始・45分前終了 |
- (3) 招集に遅れた者の出場は認めない。
- (4) 同時時間帯に2種目に出場する競技者は招集開始時刻までに、双方の担当審判員に申告すること。
- (5) 2種目同時に出場する場合、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技については試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は「パス扱い」となる。走高跳においては、事前に申告すれば「無効試技扱い」とみなす。
- (6) アスリートビブスは縫い付けるか安全ピンで確実に止めること。（走高跳・棒高跳・走幅跳の出場者は胸部または背部のいずれか一方でよい）
- (7) トラック競技の腰ナンバーカードは、点呼時に競技者係から受け取り右腰やや後方につける。

2. レーン・競技順

- (1) フィールド競技は、プログラム記載の上から下への番号順とする。
- (2) トラック競技の決勝のレーンは番組編成員で公平に抽選し記録掲示板に掲示する。

3. トラック競技

- (1) タイムにより次のラウンドの出場者を決める際に同記録者があるときは競技規則TR21.2を適用する。
- (2) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
- (3) 3000mは第1グループを2/3、残り1/3を第2グループに分けてスタートする。
- (4) 競技規則TR16.5.3は、本大会では適用せず注意を与えるものとする。

4. フィールド競技

(1) 走高跳・棒高跳

- ① 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、競技者の実情に合わせて変更する場合もある。

| | | |
|----|------|---------------------------------------|
| 男子 | 練習 | 1m50 1m70 |
| | 競技開始 | 1m55-1m60-1m65-1m70-1m73 以降3cmきざみとする。 |
| 女子 | 練習 | 1m35 1m45 |
| | 競技開始 | 1m40-1m45-1m48 以降3cmきざみとする。 |

- ② 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、競技者の実情に合わせて変更する場合もある。

| | | |
|----|------|-----------------------------|
| 男子 | 練習 | 2m50 2m80 3m10 |
| | 競技開始 | 2m60 最後の一人になるまでは10cmきざみとする。 |
| 女子 | 練習 | 1m50 1m70 |
| | 競技開始 | 1m60 最後の一人になるまでは10cmきざみとする。 |

- ③ 第1位が2名以上の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cm単位とする。

(2) 助力

助力については、競技場内での助力は禁止とするが、コーチング席（エリア）からの助言については競技運営や他の競技者の協議の妨げにならない範囲で認める。

5. 競技について

- (1) 競技者・監督といえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることにはできない。その競技に出場する者以外は競技場内に入ることにはできない。
- (2) 棒高跳の競技者は棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を練習の時に担当審判員に申し出ること。自分の希望する支柱の位置を練習の時に担当審判員に申し出ること。
- (3) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外全て主催者が準備したものを使用しなければならない。なお個人使用のポールは、検定に合格したもののみ使用できる。検定は棒高跳ピットで跳躍審判員が行う
- (4) スパイクのピンは、全天候用を使用する。長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクのピンの数は11本以内とする。
- (5) 抗議は競技規則TR8に従って、定められた時間内に各地区専門委員長（またはその代理の者）が総務員に申し出る。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添えて総務員を通じて文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

6. その他

- (1) 8位までの入賞者に賞状を授与する。1位にはメダルを授与する。
- (2) 表彰は各種目の決勝終了後ただちに行うので、入賞者は担当役員の指示に従い表彰席に移動する。3位までは競技場内で表彰をし、4位以下は競技場正面入り口で各自賞状を受け取る。
- (3) スタート前に脱いだ衣類の運搬は行わない。所定の場所に置か、各校（監督）の責任において引き取ること。
- (4) トラック競技の出場者は、ゴール後そのままゴールから荷物を取りに行き、自分の席に帰ること。
- (5) 正面スタンド前（本部席前）の選手の通行は禁止とする。
- (6) 応援横幕、のぼり旗などの設置は、チームテントの範囲内とする。
- (7) 携帯電話、ミュージックプレイヤー、その他類似の機器を所持及び使用することを禁止する。
- (8) 盗撮行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある全ての方向からの撮影を禁止する（トラック種目のスタート時の前方、後方からの撮影や、走幅跳、三段跳の砂場正面からの撮影など）。また、競技場内で撮影した全ての写真、動画は確認させていただく場合がある。
- (9) テントを設置する場合は、各チームの責任で取り扱うこと。密閉空間を避けるために、テントの横幕は開けておくこと。
- (10) 競技場は7：00に開門する。新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、保護者及び一般観戦者は観客エリアからの出入りのみ認める。（本部正面左側）
- (11) 選手、監督及び競技役員は、体調管理チェックシートをHPよりダウンロードして必要事項を記入の上、競技場入場後ただちに本部に提出すること。